

平成19年度第1回朝日地域審議会

会議録(概要)

期日:平成19年5月30日(水)

場所:鶴岡市朝日庁舎 大会議室

## 平成19年度第1回朝日地域審議会会議録（概要）

○日 時 平成19年5月30日（水） 午後3時～午後5時20分

○場 所 朝日庁舎大会議室

○出席委員 14名（五十音順）

伊藤三郎、伊藤高喜、大滝貞吉、今野継子、齋藤清一、佐藤多喜子、佐藤照子、佐藤正、  
進藤進、菅原源志、田村作美、渡部力雄、渡部一弘、渡部長和

○欠席委員 6名

伊藤昭一、井上正一、齋藤幸雄、佐藤久雄、佐藤芳弥、宮崎重美

○市出席者

朝日庁舎 支所長 佐藤敏、総務課長 小野寺正喜、政策企画室長 難波寛、産業課長 渡部芳勝、  
建設環境課長 渡部滋人、市民福祉課長 安達文一、教育課長 清野美智夫、総務地域振  
興主査 阿部重則、総務地域振興班係長 工藤幸雄、総務課主事 佐藤千里、総務課主事  
内山彩乃

本 所 政策調整室長 石山健一、調整課長 柴田昌明、政策調査課長 渡邊純、主査 宮崎清男

○次第

辞令交付（新委員）

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 支所長あいさつ

4. 報告

(1) 平成19年度朝日庁舎組織機構について

(2) 平成19年度予算の概要について

(3) 平成19年度朝日庁舎主要事業について

(4) その他

5. その他 鶴岡市総合計画策定に係る地域懇談会の設置について

6. 閉会

## 【会議の概要】

辞令交付 3名（1名欠席） 齋藤清一、渡部力雄

1. 開 会                      総務地域振興主査
2. 会長あいさつ            代理佐藤照子副会長
3. 支所長あいさつ        佐藤敏支所長
4. 報 告

### ■総務課長から資料の説明

#### ■佐藤照子副会長（議長）

ありがとうございました。ただいまの事務局の説明について委員の皆さんの質問、意見などを求めます。質問、意見のある委員の方は挙手をお願いいたします。なお、質問に対しての事務局の答弁は一括してお願いします。

#### ■佐藤正委員

職員体制が105名から97名と、8名ほど減少していますが、旧村の枠でいうと、この8名の減は本庁にまわったのでしょうか。それとも退職不補充での減少なのでしょうか。説明をお願いします。

それから、この前の駐在員会議の資料も見ているのですが、敬老会事業関係の説明の中で今年度いわゆる70歳という年齢を検討したいというお話がございました。質問いたしますが、たとえば大泉地区の場合ですと200人ちょっとの対象者がいますが毎年参加は半分程度、100名程度の参加しかありません。それでも引き上げの検討が必要なのかどうかということと、どのような場でこのことについて検討していこうとしているのか、その辺も説明がなかったようでしたので説明をお願いします。

それから、かたくり温泉ぼんぼの利用状況について、リニューアル後の利用状況ということで12月から3月までについては137%、年間比較で108%というような数値が示されておりましたけれども、何月から何月までの話なのか、どういった数値なのか確認したいと思います。

それから産業課の説明の中で毎年出てくるようですが、特用林産物の振興ということで原木なめこ普及拡大のための種菌購入補助というのが以前からあったと思うのですが、前は朝日の菌でないと駄目だとかいろいろ条件があってなかなか対象にならなかったと記憶しているのですが、今高齢化で原木栽培する人が非常に減ってきております。このままいくとどんどん減っていなくなるのではないかと心配も

しているのですが、もう少し条件を緩和してできるだけ補助対象になるような形ができないのか種菌についても以前に比べると2倍以上しますし、是非そういった条件の緩和ができないのか伺っておきたいと思います。以上で終わります。

#### ■進藤進委員

お願いであります、道路について、越中山からスーパー農道に出て、岩本に出る道路ですが、その中途に橋があります。その橋が逆の方に向いておりまして大変であります。考えてみるとかなり前もお願いしておりまして、役場さんの方では測量もやりました。けれどもなかなかできない。そのうち合併になりまして、今回また、改めてお願いをします。どうか現場を見て早期にお願いします。

#### ■大滝貞吉委員

鶴岡・村上線ですが、私の集落から4kmくらい奥で、山が抜けて木の根や石がかなり来ている。そういう関係で、我々もタキタロウ村で6月11日山菜祭りをしたいところなのですが、奥に行くことができません。あまりに山の上というか、まず一応撤去するという話もあるようだが、駐在員にもだいぶ話していますがなかなか撤去しない。これではとても、我々の生活もかかってくるものだから、是非早く撤去してもらいたいということです。よろしく。

#### ■田村作美委員

昨年の地域審議会の時に話しましたが、この朝日の環境のいい所において、ひとつの自然エネルギー、活雪といった話もありましたが、なんとか今上田沢の公園に太陽光発電の街灯、特別の支援をいただいて設置しておりますが、そんな形で朝日でもやはり電力とか、そういうものが需要及び環境も含めて変えていこうというところですので、是非朝日でもこれについてなんとかいろいろ調査研究をして、可能な限り取り入れる方向で検討お願いしたいと言った記憶がございますので、この点についてどの程度朝日で可能なのか。例えば、冬はかなり雪が多いということもありますが、落合や熊出などは雪の量も違うと思いますし、ひとつのそういう街灯なども防犯灯のかなり経費がかかっている分もありますが、これについてのこれからの見通しと、どの程度まで検討しているのか是非伺いたいと思ってきたのですが、よろしく申し上げます。以上。

#### ■伊藤三郎委員

一つは、いわゆる予算概要について説明を受けた訳ですけれども、産業団地とか住宅造成とか、特別

会計の中で村として振興してきたわけですが、広域の合併となってこのような事業は進められているものなのか一点聞きたいと思います。

それから東橋の橋梁工事は、計画より進んでいるように見受けられる訳ですが、その経過、どうして進んでいるのかと思って、その経過について。合併のメリットもあったのかな、と見ている訳ですが、その点についてお尋ねしたいと思います。

それから村づくり交付金で南部村づくり交付金事業ということで、1億いくらの事業がありますけれども、年度にまたがって事業すると思いますけれども、事業については、農道あるいは防火水槽、継続事業になっているかと思いますが、計画どおり執行できるように強くお願いしたいと思います。というのも栗山農道なども、当初はこのような事業計画の中で、平成15年度で完成する予定であった訳ですが、予算上ということで延び延びになって、経過の中では半分の事業でストップしているという状況もある訳ですので、こうした計画は、きっちりこの事業の中で完成年度まで完成してほしいと強く思う訳ですし、また東橋なども進んでいるところをみると、栗山農道なども半分に止まっているところも、県事業などはどのように働きかけできるものなのかお尋ねしたいと思います。

もう一点、高度通信基盤整備事業とありますが、挨拶の中でもありましたけれども、年度内に受信可能とか配信可能ということでもあります。そうすると、地域の住民方、我々はどのような準備をしなければならないか、あるいは、いつ頃までどのような準備したほうがよいか、その計画についてお尋ねします。

#### ■菅原源志委員

それでは二つほどお願いします。予算的な金額の話ではないのですが、75番に育英奨学金貸付事業という見出しがあり、基金を活用してということですが、この今の状況などをお願いしたいというのが一つ。それから、もう一つは別冊の方の話ですが、19年度のかかることがある訳ですが、(1)の取り組みの方針は住民意向をふまえた取り組みということで、大変期待をしたい推進の仕方と思いますが、実は私は社会福祉協議会の方で相談員をしている関係もありまして、その際相談をされたこと、あるいはそれに関わることで多少お願いをしたいのですが。特に朝日では高齢化率が高い。そしてまた山間僻地が多いということで、高齢者の交通、高齢者以外もそんな訳ではありますが、交通に関わる悩み、マイカーは非常に多い訳ではありますが。そのマイカーの利用ができない方というタイプの方々の悩みというのは、相当なものがあります。従いまして具体的にこの間の相談の内容では、通院ですが、バス停まで歩くのが非常に大変だという話がありまして、実際バス停の間でも自由に乗り降りできるという方策のところがあるみたいで、その拡大をしてほしいという要望がありました。これは担当の方に

即伝えてありますので、その方が手続きとしてよろしいかと思いますが。なお関連して社会福祉協議会では、病院への移送サービスを三年前からやっております、私たちがボランティアで対応している部分がありますが、なかなか最近介護保険の認定がないと対象にしづらいといいますが、そういう難しさも出てきたようではありますが。総体的に朝日の状況を見ますと、さっき言ったような事情でその取り扱いの方策というものは、今の移送サービスだけで満足でないのではないかと考えておりますので、以前にそういったことを踏まえて検討された時代があったようですが、その後の話題がどうなっているかということ、できれば19年度のあたりで福祉の部分、高齢者対策のあたりの検討を、あるいは対策を是非入れていただけないかなと思っておりました。以上でございます。

(答弁)

#### ■支所長

質問項目も大変たくさんありましたので、時間もかかりますので端的にお答えさせていただきたいと思っております。

佐藤正委員の質問で職員数の問題でございました。実質18年度朝日庁舎職員は105名、そして19年度は97名ということで8名ほど減少しております。本所、庁舎すべて合併に伴って適正な人員配置、そしてまた組織機構の見直しを進めている訳でございますけれども、そういった中において朝日庁舎水道及び下水道部門、これは本所のほうに機能が一元化したと、先ほど総務課長から説明あったとおりでございますので、それに伴って5名本所の方に勤務するというので、部局から5名減少になります。もう3人な訳ですけれども、次長職が、朝日庁舎の場合はなくなったと。それで1名減です。それから市民福祉課の方の保健師が、これまで本所の方の包括支援センターと朝日庁舎の方、兼務しておりましたけれども、完全に本所の方の包括支援センター勤務になったということでの減少が1名。それから市民国保年金班の窓口の関係ですけれども、これにつきましてさまざまな事務量を考慮いたしますと1名減ということで配置数が減ったと。これで合計8名の減という内訳になります。不補充、補充といった点につきましては、本所庁舎間のやり取り等でいろいろやっておりますので、非常に細かく難しい点になりますので、部局的な点で説明させていただきました。以上です。

敬老会の件

#### ■市民福祉課長

敬老会の対象者ということでございますけれども、時代の流れでいろいろ他庁舎の部分も変わってきているなという、そんな感じも受けているところです。それで朝日庁舎としましても人数の関係もかな

り増えている。それで先ほど佐藤さんの方からは参加者が少ないのでそれでもか、というようなことであった訳ですけれども、現時点では、参加する・しないに関わらず委託料を支払っているという現状の中で、自然増、これからどの程度になるかわからないのですけれども、まず相当の人数になっているということは確かでございます。それともう一つは、いろんな高齢者の動きの中でもそうなんですけれども、老人クラブに青年部ができるとか、「高齢者福祉大学」が「生き生き大学」になるとか、いろんな感覚でそれぞれの高齢者が若さを保つような時代にもなってきているなど、そんな感じを受けた時に、70歳から敬老者の祝いをするのが果たしてどうなのかなというようなことで、今年度それぞれ検討させていただきたいと思って提案させていただいたという状況です。それで、どのような場で検討するのかということでもございましたけれども、今現在は、敬老会の委託をそれぞれの地域にしておりますけれども、その状況の中で少し議論をしていただきたいというようなことでお願いをしているような状況でございます。もっとこれからどのような形で検討するのかはまだ具体的にしておりませんが、とりあえず動きとしては、そのような場所で少し考えていただきたいということで提案をしているところで

す。

二つ目の「ぼんぼ」の利用状況ということで、先ほどの質問の中で、12月から3月までのリニューアル後の利用率が137%ということだったようです。これはあくまでも昨年度の12月から3月までの比較だと思います。次の108%という数値が、どのようなものか定かでないんですけれども、年間のものであれば10月、11月については18年度休館しておりますので、単純に年間の比較はできないのかなと思います。単純に2ヶ月抜いたものがそうなのか、今資料を持っていないので、そのような状況なのかなということでお答えさせていただきたいと思います。

## ■産業課長

特用林産物の原木なめこの補助の緩和、菌の緩和できないかということでもございました。振り返ってみますと、15年くらい前から種菌の開発研究、そして朝日で採れた菌を培養して種菌を作って普及していこう、という所から始まっている所であるようでございます。そんな所でもございますが、昨年度からは、必ずしもそれによらない市販の種菌でも対象にしましょう、と変えてきている所でもございます。ただ、自家用では駄目、あくまでも販売して対象者の所得向上につながっていくということでもございます。特に、朝日は説明あったとおり非常に森林に恵まれたところでもございまして、きのこ類、特になめこにつきましても、朝日の顔として様々知られているところでもございますので、今後もこの部分については、重要な位置付けで振興していきたいということでもございますので、必ずしも朝日の種菌でない部分についても、対象にしていきたいと考えております。

#### ■建設環境課長

進藤進さんの関係でございますが、市道の越中山谷口線の「越中沢橋」の架け替えの関係かと考えております。それで自治会の要望も平成 18 年度ありまして、地域に回答しているところでございます。その回答内容としましては、市道整備につきましては、除雪車が入れない集落内の生活道の整備を、今優先的にやっています。それで、それもなかなか全部進まないということもございまして、越中沢の橋の関係は、非常に橋に対して直角に架かっているものですから、道路線形としては非常に危険かなと感じているところですが、短期的な計画には今のところ乗っていませんし、除雪の入れるような道路の整備が終わりましたら、一次改良、二次改良なりにして、長期的な計画の中で整備を図らなければならないかなと。そんな風に考えておりますので、もうしばらく我慢をしていただかなければならないかなと、そんな風に思います。以上でございます。

大滝貞吉さんの質問でございますが、一般県道鶴岡村上線の大鳥松ヶ崎以降の、新潟より 4km あたりの土砂崩れの関係でございます。庄内支庁に私共も、土砂の除去についてお願いをしております。そして、できるだけ早くやりたいという、そういうお話でございました。ただ、どけた後も山腹と言いますか、森林管理署の管理になる訳ですが、その辺の工事の関係もございまして、夜間の通行止めを原則としながら土砂を除去したいと、そんなお話がございます。ただ、期間というか時期については明言されていないということで、庄内支庁に要望してできるだけ早くお願いしたいとそんな様に思います。

#### ■政策企画室長

自然エネルギーということで先ほども申し上げたとおり、新エネルギーにつきましては注目をされてございます。雪エネルギーとか、朝日地域には大小の小沢、あるいは用水路がございます。そういったものを利用した実態調査は、相当情報収集はしましたけれども、今の光部分、太陽光につきましては雪もあるというようなこともあって、ちょっと調査にはまだ手がついていない状況です。またその辺も、調査に入れてみたいと思っております。以上です。

#### ■建設環境課長

伊藤三郎さんの関係ですが、東橋の進捗状況のことです。今年上部工の工事がありまして、三月いっぱいまで完成する予定となっております。経過といたしましては、事業の進捗状況としましては、今のところ予定通りなっているということで、合併の効果というのは今のところの話では普通かなと、そんな風に思っております。ただ話によると、旧橋の古い橋の撤去だとか、その辺は来年度の予定になっておりま

すけれども、今年中には是非ともしたいものだと、そんな話も出ていますので、その辺の関係からは、合併の効果もあるかなと考えております。以上です。

#### ■総務課長

住宅用地造成事業特別会計、そして産業団地造成事業特別会計に係るご質問について説明をさせていただきたいと思っておりますけれども。まず会計の中身でございますが、住宅用地造成事業につきましては9,926,000円となっておりますが、ほとんどが起債の償還ということになっておりまして、管理費がその他に僅かにあるというような状況です。それから、産業団地造成事業特別会計につきましては、全てが管理費というような状況でございます。それで住宅団地用地につきましては、未だ四区画、残念ながら売れていないと言いますか、残っているような状況でございます。また、お分かりのとおり、産業団地についてもまだ残っているというような状況でございます。なかなか厳しいものがあるかなと思っております。そこで、いろいろ我々もPRしていかなければならない訳ですが、この住宅団地分譲につきましては、先般駐在員会議の中でも駐在員の皆さんに情報等ございましたらお願いします、ということでお話をさせていただいておりますし、産業団地につきましては、本所の方とも連携を取りながらこれから進めていくしかないのかなと、そんな風に考えているところでございます。なかなか情勢としては厳しいものがあるということでございます。後で産業課長の方からも補足させていただきたいと思っております。

それからケーブルテレビの件でございますが、実は5月17日に共聴組合の代表者会議を開催させていただきました。朝日地域のほとんどの地域が共聴という状況もございまして、今後の取り組みについて説明させていただいたということでございます。併せて、これから各集落を回りまして、この事業の説明、それから、多くの加入者をお願いしなければならないということから、時間をみながらこれから進めてまいりたいと思っておりますので一つよろしく申し上げます。できるだけこのケーブルテレビには、多くの皆さんから加入してもらおうという必要がございますので、何卒ご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

#### ■産業課長

それでは、産業団地について一部補足したいと思います。産業団地につきましては、未分譲が一区画ありまして、8,901㎡ほど残っている状況でございます。合併後どのように進められてきたかということでございますので、合併前からありました「企業立地促進協議会」という組織がございまして、これは、東京大田区の企業、あるいは大田工連とか、そういう関係企業者、あるいはそういう組織体の代表者で組織している部分でございまして、その協議会を年一回開催しまして、いろいろPRしてきている

所でございます。また、相談員、いわゆる大田区の方で会社経営している方でございますけれども、その方に相談員として位置付けまして、様々情報や PR 等をお願いしてきているところでございます。また、平成 18 年度からは、鶴岡市の東京事務所ある訳ですけれども、その事務所からもいろいろな関わりを持ってもらいながら PR をしている状況でございます。また、鶴岡市のホームページにつきましても、産業団地ということで検索すると、すぐそのような情報が見れるようにホームページも改良している所でございます。

また、村づくり交付金事業でございますが、計画どおり進むようにして下さいということでございました。この事業は、砂川から大鳥集落までを区域とした事業でございます、農業生産基盤とか生活環境基盤の整備をしている所でございます、16 年度採択、同年から事業実施をしております、21 年度までの 6 年間で事業を実施するというものでございます。非常に進捗率が悪いということでありますけれども、その計画期間に予定された事業が、全部完了するように今後とも県の方に要望していきたいと思っております。また、若干栗山農道の関係も触れられました。栗山農道につきましては、1 期事業は早期に完成した訳ですけれども、その残りの田んぼや樹園地を通る部分の 2 期採択についても、相当以前から要望してきましたけれども、その採択の部分についてはなかなかならないという現状でありますけれども、本所と一緒に重要性を申し上げながら、早期に採択になるよう要望していきたいと思っておりますし、また、この部分につきましては、地域集落関係者の組織、促進協議会と申しましょうか、その部分での後押し、地域でも必要性について非常に盛り上がっているというような後押しが、この事業には非常に重要になってくるかと思っておりますので、その部分についても関係者の方からいろいろご協力をお願いしたいと、そんな風に考えております。

#### ■総務課長

今のところ、ケーブルテレビの開局につきましては、20 年度から開局したいと考えております。

#### ■教育課長

菅原委員からは、育英奨学資金についてご質問がございました。育英奨学資金につきましては、経済的理由によって、修学が困難な高校生、大学生等に対しまして奨学金を貸し付ける事業でございますけれども、予算上、運営基金のために予算計上はしておりませんが、基金への預金利子、株配当金積み立てのための繰り出し金として 70 万ほど計上している状況でございます。今の状況ということでございますけれども、現在までの貸付者数、金額等は、現在手持ち資料がないため分かりませんが、状況としましては、貸付事業始まってからだいぶ経ちますので、償還がされている訳でございます

けれども、基金本体も、貸付額のほうが非常に大きいということで、基金自体は底を突くように厳しい状況になっているところがございます。今後は、貸付計画も慎重にやっていかなければならないと考えているところがございます。以上でございます。

#### ■市民福祉課長

高齢者の交通に関わる質問ということでございますが、確かに高齢者の相談にそういう相談があるということはお聞きしたことがございます。それで、二つほど考えられる訳ですけれども、一つは、例えば今の公共交通機関が、何らかの関係で他町村のように廃止路線が出たとか、そういう場合であればそれなりの検討は、これから福祉バスの活用とかを検討する場合もあろうかと思えますけれども、今現在の考え方で申し上げますと、先ほどの質問があったとおり、バス停までなんとなく歩けない人が多いという状況でございます。そういう中での対応策ということでございますけれども、ご承知のとおり朝日地域では、先駆的に有償移送サービスというものがございまして、先日総会もございましたし、そういう部分が、非常にタクシーから比べれば割安に、ボランティア意識の中で対応していただいているという実態がございますので、できれば公共交通機関を利用できない方については、登録の条件が合併になって多少変わったということはございますけれども、やはり歩けない状況であれば、それなりの条件に合う方が多いのではないかなと思えますので、そういう場合については、積極的に申請をしてチェックをしながら、そのような利用サービスを使っていただく方が、現状の中では一番、我々福祉としてもありがたいなと思っているところがございます。

#### ■菅原源志委員

教育について関心を持って見ております。高齢者もそうですが、子供のことも関心を持って見ております。従いまして、育英資金なり奨学のあり方がどうあればいいかという課題は、特に低所得者層といえますか、かなりの問題だと思えますので、行政サイドのみならず、様々な対処の仕方あると思うんですが、そういう意味で、これから勉強しながら対処したいと考えておりますので、この育英資金の内容について、本日の内容は定かに分からないということでございますが、後日教えてもらえるのかどうか、教えていただきたいと思えます。

それから高齢者の交通のことについて課長から回答いただきました。普段から話をしておりますので意思疎通は完璧であります。なおかつ問題がかなりありそうだと、ということをお願いしたい訳でありまして、そのことも、やっぱり市に頼むということではなくて、みんなでできることをどうやってやるかという発想になりつつあるように思っていますので、そういう意味でございます。

一番大事なことを質問していなかったのが追加で申し訳ありませんが。実は、私も山ぶどう作ってまして、「月山ワインがんばれ」と気合をかけている一人ではありますが、最近なかなか苦戦をしているようでもありますので、これはひとつ、農協の方も叱咤激励しますが、作戦がどうも下手なようでもありますので、ひとつ市の方から特産物の奨励、そういう意味で、是非この月山ワインの拡販といいますか消費拡大といいますか、元気の出る作戦をお願いしたいというふうに思います。以上です。

#### ■伊藤高喜委員

若干お願いしたいと思います。一つは、今もいろいろ福祉の関係で話ありましたが、5ページの7番からずっと以降、福祉の関係の予算がありますが、これは朝日庁舎の方でこれだけの予算をみましたよ、ということでこれで全部なのか。それとも福祉に関しては、本庁の方でいろいろな予算を組み立てた中で、特に朝日ではこのように、という組み立てをしたのか、そのあたりをちょっと教えていただきたい。それから、この前の会議の時も申し上げましたが、旧朝日村が、鶴岡の方にどんどん行ってしまって人口が減る、それから世帯も減っていくということで、真に寂しい限りでありますけれども、実は今もこの資料にもありますように、自治会ということで、今度は「部落」から「自治会」になるんだなというような感じでありますけれども、何のことはない自治会というのは、自分たちの事は自分たちで、地域の中でやっていきましょうということで、市の方にも国の方にもあまり面倒見るような予算は無くなったぞと、自分達の場合は自分達でやっていくんだということの表れだと私は思います。それは大変いいことだと思いますが、その中で二つだけ申し上げたいのは、この前、実はうちの隣が火事になって、日中でありましたのでまずまずあのような状態で終わりましたけれども、その時、私もうちの方の自治消防ということで、すぐにヘルメットを頭に乘せて何かをしようと思ったら、「危ないから火が燃えているところに行くな」と言われました。これは本当にそのとおりだなと思ったのは、今は危険物が家の中にいっぱいあるのが当たり前の事で、それに火がつくと爆発してしまうと。だから素人がすぐ行って出してやると、そういうことをすると危険だと、そういうことが一つありました。だから自治消防といっても実際そういう場面になったときに、どのような応援の仕方が専門の消防を通じて、自治会、部落の方に教えていくということを是非やってもらいたい。そのようにお願いしたいと思います。

それから、先ほど「ぼんぼ」の利用率の話がありましたけれども、「ぼんぼ」の利用率を出す場合は、これは稼働日数によってその結果どう動いたかということで資料を出しておりますので、去年度も二ヶ月は休んだ、ですけれどもその他トータルした稼働日数ですと何%良くなったというようなことでなされておる訳ですけれども、介護予防ということで、丈夫な人がますます元気で「ぼんぼ」を利用したりボランティアをしたり、自分の生きがいをその中に作りながら元気で年を過ごす。それが一番理想

的で、そのためにいろいろな事業がこう、組まれて、そして社会福祉協議会を中心としたボランティアの活動だとか、いろいろ組み込まれておる訳ですけれども、これらを是非ひとつ、今までより以上に予算化して進めてもらいたい。これは、予算化といっても励ます予算で、そんなに莫大な予算をつける必要はないかと思しますので、ボランティアの人たちを励ます、それが介護予防になるような対策に是非力を注いでいただきたいと思ひます。

それからもう一つは、集落の中でこの前もいろいろ意見出ておりましたけれども、あまりに少なくなつたと。これは町村も合併したのですから、効率よくやっていくためには、やはりそれぞれの集落をもう少しまとめた方がより良いのではないかなという風に思ひますので、その点も是非検討していただきたいと思ひます。部落自治会の中で一番もう一つ問題点があるのは、今は個人情報保護ということで、隣の人もどこの人だか分からないという状況が多くあります。そして、教えてくれと言ってもそんなもの個人情報だから教える必要はないと、前は駐在員に行くと、年齢とどういふ人が住んでいるか、駐在員は全部分かつていた訳です。ところが、今はそんなもの聞いても全然分からない、そういう中で自治組織がきちんと、みんながお互い力を出し合つていけるような形に行くのかどうか。何も分からない、隣の家が何かもわからないものが、そういうことでは私はおかしいと思ひます。ですから、そのそういう個人情報保護法の趣旨も分かりますけれども、部落にあつては、あそこの家はどうかと、そして体が具合悪いときはどうするというような、そういうお互いに心が通ひ合う体制というものが、是非必要だと私は思ひますので、その点も合わせてひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。

#### ■市民福祉課長

福祉の関係でございますけれども、ここに福祉関係7項目と健康3項目ほど載つてはいますが、これはあくまでも朝日としての主要なもの、あるいは特徴的なものをある程度数を限定してここに載つてゐるということでございまして、福祉事業がここに全て載つてゐるというものではございません。数にすれば、今までと同じくらいの相当の数がございまして、本所予算に入つてゐるものもございまして、これはほんの一部だという捉え方でございまして。

それから「ぼんぼ」の関係とか、ボランティアを励ます関係の予算とかそのような質問、要望等ございました。今「ぼんぼ」関係につきましては、「いきいきデイサービスふつくら」ということで、毎週二つ、三つずつ活用してございまして、そういう面では「ぼんぼ」の活用の中にも組み入れられてゐるというような状況でございまして。今、これからは介護予防というものを、特に生き生きクラブには取り入れまして、市全体としての流れの中で対応をしたいなということで、今年度から特にその部分を意識してやつてゐるということです。それから、ボランティアを励ます予算につきましては、かなり今の状況

からすればボランティアの人達、あるいは地域コミュニティという部分での動きが非常に大事なものになってきているということは、我々としてもご承知をしているところでございまして、この地域コミュニティ関係については、今福祉課の中にコミュニティワーカーということで一人配置をすることで、地域の関わり方、あるいは地域にそういう活動を広めていく方法等も入れているという状況でございます。当然、ボランティアの人達の部分についても、本当にこれから福祉として大事な位置付けの中で、これから事業推進をしようと思っている所です。以上です。

#### ■総務課長

自主防災組織についてお答えさせていただきます。自主防災組織につきましては、防災知識の普及、それから災害予防に関する学習、それから有事の際の情報収集伝達、それから先ほどありましたけれどもあくまで初期消火だと、いうことがございます。その他には救出救護、それから避難誘導等の応急対応もございますけれども、それぞれ地域をあげて頑張っている所でございますけれども、なかなか組織の中で役割が十分伝わっていない部分もあるかと思いますので、是非研修会等開催していただければ、私たち庁舎といたしましてもそちらの方に支援をさせていただきたいと考えておりますので、ひとつよろしくお願ひしたいと考えております。できるだけ役割を確認しながら、事故があつては困りますので、そういった事のないように事前に皆さんから十分理解をしていただく、こういうことが大切かと思っておりますので、研修等、私たちも支援させていただきますのでよろしくお願ひしたいと考えております。

#### ■政策企画室長

最後に出ました地域コミュニティと個人情報の関係かと存じますが、非常に難しい問題かなと思って聞いておりました。最近、限界集落とか離散集落ということで、様々集落のコミュニティをはじめ、集落の存続そのものまでも危険視するような情報がマスコミ等に掲載してございます。その中で本市としましても、中山間地域の情勢を考えようということで、今朝日地域、温海地域、櫛引地域の三庁舎を介した中山間対策というものを今年から取り組むことになっているところでございます。その中でも様々議論されるかと思いますが、いずれにいたしましても個人情報につきまして行政で出すわけにはいきませんので、逆に、先ほどの課題調査というような形で集落にお聞きしにあげたいと。そしてその中で地域の話題としていただいて、地域としてどういう風に考えていくのか、その辺も逆にお聞かせ願ひたいと。そして、その中で行政がお手伝いできるものがないのかどうか、というようなことを今の中山間振興対策の中で課題とし、なおかつ政策に結び付けていければなど、そういう風に考えているところです。

#### ■伊藤三郎委員

せっかく菅原委員から月山ワインについて意見が出ましたので、先ほど政策企画室長から丁寧な説明がありました。全くそのとおりに思っておりますし、是非交流人口を増やしてこのとおり活力ある地域にしていきたいものだと聞いておりました。豊かな雪と山というのは、確かにこの地域の財産ではありますし、その山と豊かな雪から生まれる春の山菜、あるいは秋のきのこの活用こそ我々の豊かさ、誇りを感じ取れるものだと私は思っております。先ほど菅原委員から発言があった山ぶどうからできる月山ワインの、この地域としての産業、このことが非常に重要だと思いますので、是非このページのどこかに一行でも二行でも入れていただいて、この6つの自治体が合併した市あげて取り組んでほしいと、こう思っておりますのでよろしくをお願いします。

#### ■政策企画室長

ごもっともと言いますか、おっしゃるとおりかと思えます。山の活用には、特用林産物ということで先ほど申し上げたとおりでございます。その一つということで月山、山ぶどうですか。山ぶどうの活用もこれから様々あるのかなと、という風に思っております。ちょっと前に資料収集の中で見た訳ですが、四国のある地方で「ゆず」をテーマにして、小さな村で「ゆず」で数十億円の様々なゆずを加工してやっている例も見ました。その辺も参考にしながら、山ぶどうもそういう風なものに繋がればなと思っています。よろしくお願ひしたいと思ひます。

その他の意見要望、感想など。

#### ■渡部一弘委員

大網集落ですけれども、集落崩壊が間近に迫っているという集落があって、今現在消防も合併している訳です、中村と七五三掛も。七五三掛の話をしているのですけれども、あそこの住民だけで農道とか部落の維持管理ができないということで、役場の方たちの知恵をお借りしたいというか。明日はわが身でうちの集落だって、というような感じで。政策企画室長に知恵をお借りしたいと思ひますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

#### ■渡部長和委員

要望でしたけれども、集落営農が始まりまして有機農業と叫ばれておるわけですから、旧朝日村

には堆肥センターがないということで、堆肥の集積施設みたいなものを建ててもらえればなという話はしてまして、今大網放牧場で放牧なされている訳でありますけれども、それに市から予算 300 万ほどいただいで運営している訳でありますけれども、この合併によって、庄内の放牧場が合併の域に達するのかなという噂もありますし、大網放牧場は、地域性の高い特色ある放牧場でありますので、是非存続を願えればなという感じはしています。

#### ■政策企画室長

先ほどの回答と同じ事になるかもしれませんが、中山間地域、同じ現状にございますので、その辺の現状も取り入れながら検討させていただきたいと思います。逆にいいアドバイス、助言があればありがたいなと思っているところです。以上です。

#### ■産業課長

集落営農組織も朝日地域には四つほどできました。それらでもって地域農業、地域コミュニティ、地域集落を守っていくというような形で、そういう高い視点に立って集落営農がされている所でございます。有機農業が、今お話ありましたとおり、ますます進んでいくかと思えます。堆肥センターがないということで他から持ってきている訳ですけれども、ダブると十分に使えないという状況もありますので、その部分を補う、そういう集積施設については、我々も必要であると認識しておりますので、そんな形を是非これから要望してまいりたいと考えております。

それから放牧場については、確かに朝日地域においては畜産農家、牛を飼っている農家は少ない訳でありますけれども、誇りをもって、非常にこう、農業の根底にあって支えになっているという部分があると私も思っています。特に大網放牧場につきましては、放牧場で自然分娩ができる、子供を生ませることができるという、他の放牧場にはない特色があるという所でございます。他の地域からの放牧するという話も非常に多くありますし、今年度初めて、鶴岡市農協からも要望がありまして受け入れているところがございます。そういうような特色性を活かしながら、放牧場については今後も重要な位置付けになっていると思いますので、今後も継続するような形で考えていきたいと、こんな風に考えております。

#### ■佐藤照子副会長

ありがとうございました。ただいま委員のみなさんの意見や感想について、支所長のご感想などをいただければと思います。

#### ■佐藤敏支所長

ただ今は様々な角度からご意見、そしてまたご質問・ご要望等いただきまして大変ありがとうございました。どれをとりにしても非常に大切なことばかりだということで、私たちも肝に銘じながら今後対応していきたいという風に考えております。具体的な施策への反映というのは、今後いろいろ研究しながらしていくこととなりますけども、先ほど冒頭申し上げました朝日地域のいわゆる、再び元気を取り戻す手立てと申しましょうか、定住と交流と産業振興と地域コミュニティの再生、そういったものをキーワードにしながら、皆様方のご意見を基にいろいろ頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いしたいと思います。それから、委員の皆様にはこの会議にとどまらずさまざまな場で庁舎の方においでになりながら、日頃からいろいろなご意見等お寄せいただければ大変ありがたいと思っております。今日は本当にありがとうございました。以上でございます。

#### ■佐藤照子副会長

ありがとうございました。以上をもちまして次第4の報告を終了いたします。会長代行の不慣れな議長にご協力を賜りましてありがとうございました。議長役目を終了させていただきます。